

## 指定研究村に於ける必需物資配給調査報告 (二)

## 一、埼玉縣研究村に於ける調査報告

## 根岸 勉 治

## (1) 農村必需物資配給實態調査 (大澤村猪俣)

## 一、農村必需物資配給調査方法

## 1) 調査方法

大澤村必需物資實態調査は猪俣部落農家九九戸に就き、研究村補助員、農事實行組合長、班長等に依り行つた。而して、役場、農業會の配給品は役場、農業會に依り、農家の闇購入品は直接農家に依り調査した。

## 2) 調査項目期間

調査項目は肥料、農用薬劑、購入飼料、農機具、自轉車リヤカ、類、衣料品、醫藥品、家畜、食料嗜好品、新聞雜誌等である。肥料、農機具、衣料品、食料嗜好品は役場、農業會と農家、自轉車リヤカ類、農薬、家畜、飼料、醫薬、新聞雜誌は農家、油、空債、雜貨は農業會に依り調査した。期間は昭和二一、六、一乃

至二一、五、三一である。

## 2) 調査部落經營階層別農家戸口數 (八二戸)

經營階層	戸口數	總面積	總戶數	總員數	面積當	員數當
三反未満	三五七	四一	八	二〇	一八	六八
三反—五反	四一五	二〇	四	七	四三	七
五反—七・五反	八二八	四	三	八	五九	六
七・五反—一〇反	一八九三	三	二	一五	八六	七
一〇反—一三反	二五二	二	一	二〇	二〇八	八
一三反以上	二七〇	八	二	六	一四六	七

調査農家中耕作面積及び家族員數が不明なものは除外し、八二戸を集計した。

## 二、農村必需物資配給購入状態

(換算率米一升八〇圓、麥類一升四〇圓、小麥粉一貫二〇〇圓)

肥料	計
⑤	④
三、八七、四七	一五、九五、〇〇
二四、〇三、四七	二四、〇三、四七

農機具	農料品	食料品	其他
10,269.00	8,739.10	16,948.00	10,269.00
15,025.00	300,000.00	149,900.00	22,126.00
22,232.00	39,033.00	100,828.00	22,126.00
22,232.00	39,033.00	100,828.00	22,126.00
22,232.00	39,033.00	100,828.00	22,126.00
22,232.00	39,033.00	100,828.00	22,126.00

三、肥料

(一) 農業會配給額

種別	數量	金額	單價	備考
硫酸安	940.200	10,116.400	10.75	
過燐酸	640.500	3,755.8	5.85	
石灰	270.300	2,088.7	7.72	
輸入加里	740.600	6,891.00	9.30	內六〇七貫麥、馬鈴薯報獎
石灰燻葉	100.200	4,333.00	43.20	內七二貫二〇〇米、甘藷リント
硝酸アンモニヤ	120.000	4,750.00	39.58	
汗濁肥料	120.000	1,000.00	8.33	
石灰粗面	260.000	1,200.00	4.62	
岩粉末	260.000	1,200.00	4.62	
石灰	1,940.200	3,880.400	2.00	(共同購入)
計	5,860.600	33,870.00	平均 5.78	

取得農家九二戸、平均戸當取得數量六三貫四四二、同支拂價額三五七・一八圓

(二) 農家購入額(物交六件)

種別	件數	數量	價額	備考
硫酸安	10	20	106.75	10貫米三斗、10貫二五〇圓、10貫、000圓小麥粉七五貫、
石灰燻葉	4	37	2,000	二臥米一斗四四、三貫八〇〇圓
過燐酸	1	10	1,000	
加里	9	26	6,300	10貫200圓
配合肥料	8	12	14,500	10貫1,000圓
雜肥料	23	33	19,635	20貫1,000圓
計	57	79	25,125	外油給三升六〇圓、鹽四貫八〇圓、鶏糞七依二八〇圓

大體購入者四五戸、戸當購入一六貫強、三三・三六〇圓弱、反當所要量は一〇貫乃至二〇貫、肥料別數量は硫酸安八貫、過燐酸四貫、加里二貫、硫酸安五貫、石灰燻葉三貫、過燐酸五貫、加里三貫、硫酸安五貫、石灰燻葉三貫、過燐酸五貫、加里二貫

(一) 農業會配給額

種別	數量	價額	單價
牛馬犁	1	55.00	55.00
碎	1	70.00	70.00
鐵	5	100.00	20.00
草	3	57.00	19.00

種別	件数	数量	価額	備考
脱穀機	一		1,700.00	
モーター	一		3,000.00	
草刈鎌	七		2,150.00	
桑切鎌	六〇		1,350.00	
稻刈鎌	六		400.00	
計	二五		10,150.00	

外播種機一臺、製糞機一臺價格不明

〔二〕農家④購入額

種別	件数	数量	価額	備考
モーター、脱穀機、製糞機	三		9,630.00	
農電設備	三		9,370.00	
鉄鋤類	八		2,990.00	
鎌類	一七		7,700.00	
万能外一種	三		3,000.00	
雜品類	三〇		15,030.00	
計	(延) 一三三		50,710.00	

〔一〕農家③購入額

種別	件数	数量	価額	備考
作業衣類	二九	七點	壹,000.00	
平均單價			叁,四四	
備			物交五件	
			二點八〇〇圓米一斗六升	
			一〇點五,〇〇〇圓米一斗	

例一、耕地一町二反、家族員數六人、一、五〇〇圓  
 鐵二、萬能二、鉋一、草刈鎌二〇、押切一、唐鐵一、四ツエー  
 例二、耕地七反四畝、家族員數九人、三、九五〇圓  
 モーター一臺、五人共同、脱穀機一臺五人共同、製糞機一臺八  
 人共同、一人當三、五〇〇圓、萬能一、鐵二、四、五〇圓  
 五、衣料品類

〔一〕農家會③配給類

種別	数量	價額	單價	戸當數量
作業衣類	六四	二,四〇五.壹	三六.元	〇.七
下衣シャツ類	七	一,〇六.三	一四.二	〇.八
子供物類	元	三七八.三	七.二	〇.四
地下足袋	八	一,六八.〇	一八.五	一.〇
反物類	五	二,三三.〇	四六.六	〇.六
雜品類	二九〇	九八.八	三.三	三.三
計	六三三	八,七四.一〇	一四.六	六.七

これは米、大小麥、馬鈴薯、甘藷の製費用が大部分であり、取得農家戸數九二戸、戸當り平均支拂價額九五圓五〇錢である。

計	雜品類	反物類	服類	地下足袋類	子供物類	ズボン類	シヤツ類
一四〇	三六	三〇	八	一五	二二	一四	一八
不明六件	一三五	七五	三三	六三	三三	三三	六五
三〇〇、四六〇	六、〇〇〇	四、三〇〇	一八、五〇〇	三、九六〇	七、九六〇	一、七六〇	三、九〇〇
		反當 一、一九〇	一、四三三	三五	三六	三六	四九
		物交四件	物交一件	物交四件	物交四件	物交三件	物交一件
		毛布二枚一、〇〇〇圓米五升 防寒服二着 一、〇〇五〇圓	外套一點六〇〇圓米一斗 學生服一點六〇〇圓	五足米一斗五升 六足一、〇〇〇圓米五升	四點粗染新二四〇東 二點二五〇圓米四升	三點六〇〇圓米五升 二點二五〇圓米四升	三點、押麥二斗五升

購入報告農家は六八戸、總購入價額三〇〇、四六〇圓、平均戸當り購入額四、四一八圓である。購入先は東京、八王子（ブローカー）本庄町、寄居町、兒玉町及地元ブローカー等である。

六、食料嗜好品類

煙草	酒	種別	數量	價額	單價	戸當取得數	戸當支拂價額
二、五〇〇	一九、三		五、八三〇	三、八	三、九三	二七、九三	二、〇〇
			三、二五〇	八、五			

鹽	輸入總計	計
△三三〇	八、七六・三三〇	△三三〇
△三三〇	一、九四・〇〇	△三三〇
△三三〇	五八〇	△三三〇
△三三〇	二六、九四・〇〇	△三三〇
		△三三〇

酒、輸入總計は二一年産米完納農家報奨品であり、鹽は共同購入家畜用をも含み、八〇圓、①一・二圓をも包含する。煙草は木小麥報奨品である。

七、自轉車リヤカー類購入額

種別	数量	價額
自轉車	三	九,五〇〇円
自轉車、タイヤ、テニープ	三	六,八〇〇
リヤカー	六	八,五〇〇
リヤカー、テニープ		六,五〇〇
タイヤ、テニープ類		三,一〇〇
計		三二,四〇〇

購入報告農家六四戸、購入總額二二一,二七〇圓、一月當り三、三〇一圓である。

八、農藥、家畜、飼料、醫藥、新聞雜誌等購入額

種別	件数	總價額	戸當額	備考
農藥	一〇	一,〇三〇円	一〇三円	馬一、九,〇〇〇圓、豚一、五〇〇圓、山羊三、二〇〇圓、鶏五、二〇〇圓、米一斗、其他
飼料	三	三,三〇〇	三三〇円	治療費を含む
醫藥品	三	三,〇〇〇	三〇〇円	
新聞雜誌教科書ノート	二六	七,三四四	四九〇円	
計	二六	一六,六七四		

九、油、空俵、雜貨類配給額

種別	数量	價額	單價	戸當額	戸當支拂價額
油	三斗	六七五・〇〇円	二九六・三円	六六円	一〇三・三六円
空俵	一、〇五	一、七九・八〇	一・六六	一六六円	一九・三〇
雜貨	一斗	三、三六・四四	五、六六	六・三九	三〇・五〇
計		五、六七・二四			五九・六六

油は親指用燈油其の他、空俵は主食供出に對する還元であり、雜貨は主食供出報奨物品である。

(2) 資本蓄積實態調査（大澤村、松久村）

資本蓄積調査方法

(一) 一般蓄積調査方法

研究村資本蓄積高を推定するため、農業者、郵便局及び銀行の預貯金額を調査した。郵便局は大澤郵便局（大澤、松久共同）、銀行は最寄の埼玉銀行寄居、兒玉兩支店によつた。

(二) 農家別蓄積調査方法

兩研究村補助員に農家六戸乃至八戸を分擔せしめ、階層別經營廣狹別に全村に亘り、農家を選定、實態調査を行はしめた。調査項目は(一)貯金高（農業者、郵便局、銀行、保險等現在高）、現金所持高（現在高）、現物化保存高（家庭、作業場建築増設、農電設備、農具機械、家畜家禽、自轉車リヤカー等終戦後）、經營生

活投資高（肥料、衣料、冠婚、葬祭、教育費等最近一ヶ年）、農村負擔額（租税公課、寄附金、臨時所得税、財産税）とし、貸付金及び商工資金關係は殆んど皆無である。

二、農業會郵便局銀行別蓄積高  
 (一) 大澤村蓄積高

農業會	三、八、一〇、〇〇〇 <small>年</small>	封鎖三、五七四、七三三件
郵便局	三、三、二、九、八〇〇 <small>年</small>	自由三、三六、三〇四、七九
計	六、一〇、三、九〇〇 <small>年</small>	最高農家 八三、七〇四円。
大澤郵便局	一、一〇〇、〇〇〇	大澤郵便局
埼玉銀行	一〇一、五〇〇	埼玉銀行寄居、見玉支店
計	六、一〇、三、九〇〇	

(二) 松久村蓄積高

農業會	三、九、六、六〇〇 <small>年</small>	貸付金 一四、七五円 四三件
郵便局	一、八〇〇、〇〇〇 <small>年</small>	大澤郵便局 九、五五円 四〇
計	五、七六六、六〇〇 <small>年</small>	
大澤郵便局	一、八〇〇、〇〇〇	大澤郵便局
埼玉銀行	一四一、八〇〇	埼玉銀行寄居、見玉支店
計	五、七六六、六〇〇	

三、大澤郵便局（大澤松久）預入拂出状態

年	月	預入高	拂出高
二一年	六月	五、九九、四〇	三三、三九、五〇
	七月	九、七〇、六二	二九、五七、六六
	八月	一〇、四四、四〇	三三、一七、六六
	九月	一〇、四四、四〇	二八、四〇、〇八
	一〇月	一四、九三、〇六	一七、五〇、三三
	十一月	三三、〇〇、〇一	一五、〇〇、〇六
	十二月	一九、四四、〇六	三二、〇四、七二
二二年	一月	二五、〇四、三三	四三、八六、九三
	二月	三三、七三、三三	二九、五三、六六
	三月	一六、三六、七〇	六七、八四、六九
	四月	三三、九六、六六	三三、一〇、一五
	五月	三三、〇四、六六	三三、五八、七〇
	六月	三六、三六、六六	三九、〇六、六六
	七月	三三、五三、六六	三三、〇五、三三

かく最近一ヶ年間に預入高二、八五六、〇四八圓七錢、拂出高三、三八九、六三九圓九八錢、差引五三三、五九一圓九一錢拂出超過になつてゐる。

三、大澤村農家別資本蓄積高（五九戶）

(一) 調査農家所有經營面積

△所有面積單位千圓（農村負擔）  
○經營面積單位千圓（農村負擔）

字	別	耕地	蓄積	耕地	蓄積	耕地	蓄積	耕地	蓄積	耕地	蓄積
猪	供	一〇・三〇 △	17	一〇・三〇 △	43	一〇・三〇 △	18	一〇・三〇 △	30	一〇・三〇 △	7
猪	俣	一〇・三〇 △	69	一〇・三〇 △	16	一〇・三〇 △	30	一〇・三〇 △	66	一〇・三〇 △	1
大	佛	一〇・三〇 △	36	一〇・三〇 △	63	一〇・三〇 △	19	一〇・三〇 △	12	一〇・三〇 △	33
大	佛	一〇・三〇 △	151	一〇・三〇 △	90	一〇・三〇 △	72	一〇・三〇 △	87	一〇・三〇 △	64
圓	田	一〇・三〇 △	38	一〇・三〇 △	21	一〇・三〇 △	32	一〇・三〇 △	48	一〇・三〇 △	79
良	本	一〇・三〇 △	25	一〇・三〇 △	98	一〇・三〇 △	77	一〇・三〇 △	38	一〇・三〇 △	24
湯	本	一〇・三〇 △	25	一〇・三〇 △	98	一〇・三〇 △	77	一〇・三〇 △	38	一〇・三〇 △	24
湯	本	一〇・三〇 △	25	一〇・三〇 △	98	一〇・三〇 △	77	一〇・三〇 △	38	一〇・三〇 △	24
白	石	一〇・三〇 △	42	一〇・三〇 △	18	一〇・三〇 △	6	一〇・三〇 △	44	一〇・三〇 △	58
野	中	一〇・三〇 △	65	一〇・三〇 △	25	一〇・三〇 △	105	一〇・三〇 △	7	一〇・三〇 △	10
小	栗	一〇・三〇 △	119	一〇・三〇 △	30	一〇・三〇 △	89	一〇・三〇 △	25	一〇・三〇 △	6







小作 三人	小作 六人	小作 八人	小作 七人	小作 九人	小作 八人	自作 一〇人	自作 四人	自作 六人	自作 七人	自作 四人	自作 五人	自作 八人	自作 六人	自作 六人
二五三	三三三	四三〇	二二八	三四七	七二六	三一五	三一八	三四五	四二七	三三〇	四四〇	四四二	八六〇	五五〇
〇〇〇, 四	〇〇五, 〇〇	一〇九, 一〇	〇〇九, 一〇	〇〇一, 〇〇	一	一〇九, 〇〇	八七九, 〇〇	八二〇, 〇〇	五五〇, 〇〇	七〇〇, 〇〇	一五, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	九〇〇, 〇〇	一〇〇, 〇〇
〇〇八, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一	〇〇一, 〇〇	六五〇, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇七〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一
〇〇〇, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇一, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇八, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇一, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一
〇〇一, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇一, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇九, 〇〇	〇〇一, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇一, 〇〇	一〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一〇〇, 〇〇
〇〇一, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	一	一	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇
六〇〇, 〇〇	〇〇三, 〇〇	三〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇	〇〇七, 〇〇	〇〇一, 〇〇	〇〇三, 〇〇	〇〇七, 〇〇	〇〇九, 〇〇	二八, 〇〇	七〇, 〇〇	四〇, 〇〇	四〇, 〇〇	三〇〇, 〇〇	〇〇〇, 〇〇
一	一	二五	役牛一〇七	一	一	四八	一	〇九	〇五	一六	三五	一	牛一頭 八〇	三五

小作	五人	0.21	1,000	1,000	結婚 3,500	1,000	35,000	
小作	三人	1.91		800	1,500		22,000	
小作	四人	0.78	2,900	1,000	1,000	1,100	8,000	
小作	四人	1.58	2,000	1,000	2,000	1,000	8,000	
小作	四人	2.16	3,500	1,000	10,150	200	26,000	
小作	九人	2.78	3,000	2,000	4,500	3,000	100,000	穀業
小作	四人	2.59	600	500	2,000	300	22,000	牛一 馬一
小作	四人	3.55	2,800	2,000	2,000	1,000	20,000	0.5
小作	四人	2.70	1,000	1,000	4,000	200	10,000	
小作	四人	3.12	2,000	2,000	700	2,000	10,000	0.7
小作	三人	2.35	5,000	2,000	5,000	1,000	22,000	
小作	八人	2.21	4,000	500	5,000	2,000	12,110	1.0
小作	五人	3.50	4,000	500	2,000	200	10,000	

農村必需物資配給實態調査（松久村古郡）

埼玉縣見玉郡松久村古郡は總戸數百戸に近く、比較的專業農

家が多きを以て、農村必需物資配給實態調査部として採用した。古郡部落中農家九四戸を選定し、部落農家中より六人を選定し、各自をして分檢調査に當らしめた。調査品目は農村事情に依り多少變更し、農家が不慣なるが故に◎と⊙の混同を避くるため、

④配給は役場、農業會を通じ、農家には専ら關購入を報告せしめた。調査期間は昭和二年六月一日乃至昭和二年五月三十一日とした。調査方法は農家が簡單に記入出来るようにし、農家自らをして記入せしめ、調査員は不明の點を指導するようにした。該調査は趣旨が充分徹底せず、過少報告の觀なきにしもあらずだが、大體の傾向は之を知り得ると思ふ。

農村必需物資購入價額

農村必需物資目は肥料、農機具、衣料類、自轉車リヤカー類、家畜、種苗、農業藥劑、醫藥品及び新聞雜誌ノート類とした。購入方法は農業會を通じて④配給を受け、他は東京、八王子、神奈川、千葉よりのプロカー、高崎、本庄、深谷、兒玉、寄居の商店にて闇にて個人的に購入している。

種別	價	額	割合
肥料	六三、八九	二六、二〇九	10.3%
農機具	七五、〇〇	一四、三二九	1.3%
衣料類	一七、一九	三三、〇〇九	5.7%
食料嗜好品	八三、二〇六	三六、一三六	19.3%
自轉車	一五、〇〇〇	三、七六〇	1.9%
リヤカー	三三、七三	三、七六〇	1.7%
家畜	八三、〇〇〇	八三、〇三六	6.8%

飼料	種苗	農藥	醫藥	新聞雜誌ノート	計
五、三〇〇	二、七五五	一、二〇〇	七、七七五	一〇、四八八	一、二六九、〇九〇 (一月當三、五〇円)
五、三〇〇	二、七五五	一、二〇〇	七、七七五	一〇、四八八	〇、八三

農村必需物資購入代金支拂は現金及び物交であり、物交は米が大部分で麥類も相當ある。右表は一應米一升八〇圓、小麥一升五〇圓、大麥一升四〇圓、小麥粉一貫二〇〇圓、甘藷一貫三〇圓として換算した。而して、總購入額は一、二六九、〇九圓、一月當り一三、五〇一圓である。

肥料購入額

一、農業會配給肥料

農業會配給肥料は一般配給が硫安、石灰窒素、過磷酸、加里、其他で合計八、八九二貫、五三、三六二、九一圓であり、報奨配給は硫安が九七二貫、一〇、四九七、〇九圓である。従つて、農業會配給肥料は合計九、八六四貫、六三、八五九圓にして、反當一貫強、戸當り六七九圓で種別數量は次の如くである。

配給種別	肥料種別	數量	金額	單價(貫當)
一般配給	硫安	一、二六四	一、七六三、三〇六	10.8%

計	一般配給	石灰、窒素	一、六八八
	一般配給	過磷酸	一、七九四
報奨配給	其	加里	六八八
	他		三、八〇〇
計	硫安		九三三
	硫安		九、八〇〇
			一、五、八八八〇〇
			一〇、〇、〇〇五
			四、六六八
			五、三三三
			一〇、四七〇九
			三、八九八〇〇
			九三六
			七五六
			五九

二、購入圈肥料  
 購入肥料は購入三四戸、購入せず三六戸、空欄二四戸、一般金肥は東京、八王子方面、魚粉は神奈川、千葉方面、鶏糞、人糞は本庄町、深谷町、見玉町、大部分アローカー、買出が仲介、現金圍が二三件、物交二六件、物交は大部分米、大小麥もあり、種別購入數量は次の如くである。

肥料種類	購入件數		總購入數量	購入金額	備考
	現金	物交			
硫安	九	五	二六五	三、七〇〇円 米二石	三貫(米一俵半) 二貫(一、八〇〇円) 二五貫(四、三〇〇円、米六斗)
石灰窒素	六	二	六二	二、二〇〇円 甘藷三貫	三貫(三、三〇〇円) 三三貫(米一俵半) 三貫(大麥六升)
加里	一	五	二九	二、一〇〇円 米一石八	二斗(一、〇〇〇円) 五斗(米二斗) 三斗(大麥一俵) 都會配給品を買出人が農家に賣却、物交
大豆	九	一	一〇	一、九〇〇円 米五斗、大麥四斗、小麥半斗	八貫(八〇〇円)
貝粉	三	一	四	三、五五〇円 米六斗	三〇貫(三、五〇〇円米五斗) 一五貫(米一斗)
鶏糞	一	一	一	三、五五〇円 米六斗	三貫(米六升) 一貫(米三升)
魚粉	七	一	八	四、九五〇円 米一升	四貫(三、五〇〇円) 八貫(五、米一升)
其他	一	一	一	七、三〇〇円 米一升	
計	四五	一六	七九		

過燐酸二銨米一斗五升、硝石二〇貫三、〇〇〇圓、油粕五〇貫五〇〇圓、豆粕三貫米三升五合、餅一〇貫一、〇〇〇圓、露稻一〇貫押麥一〇貫、人糞二四荷米四升八合である。

### 三、肥料所要量

配給肥料は極少であり、購入肥料も入手困難なるを以て、配合肥料の配給を要望する者が多い。二〇農家(耕作面積一〇〇反)が報告せる肥料所要量は次の如くである。硫酸一、一一〇貫反當十一貫、石灰窒素五八〇貫反當五・八貫、過燐酸四六〇貫反當四・六貫、加里四八〇貫反當四・八貫、従つて、反當所要肥料は二六貫である。他の一八農家は配合肥料を反當約二〇貫を要望している。即ち、配合肥料を反當二〇貫以上を希望し、配給肥料では三分の一にも足らずと稱する者もある。肥料不足により入手には種々苦心せるも粗懸品をつかまされる者も尠くない。今期は配給肥料もやゝ多き様である。

### 農機具購入額

#### 一、農業會の配給農機具

農業會配給農機具は一般用、報奨用合計三一〇圓五、〇一六圓に過ぎず、犁、鋏、鎌にて種別數量は次の如くである。

種 類	數量	購入形式		價 額	備 考
		現金	物交金及物		
モ	八	五	〇	二	三一〇,〇〇〇圓(1,800円米1俵)・1,500円(1,000円)・1,500円(1,000円米1俵)・1,500円(1,000円米1俵)・1,500円(1,000円米1俵)

### 種 類 數 量

報 奨 用	一 般 用		價 額
	犁	鋏	
計	四	一	二,〇〇〇円
草刈	一	一	一,〇〇〇
鋏	二	七	一,〇〇〇
計	一	一	一,〇〇〇
計	二	二	一,〇〇〇

戸當り四點弱五一圓強であるが、粗懸品が多く、使用に堪えざるものである。

#### 二、闇購入農機具

農機具購入農家は九四戸中六〇戸、購入せざる農家二戸、他は空欄である。購入先は商店七四戸、行商二戸であり、支拂形態は現金七九件、物交八件、物交は大部分米にして、大小麥が一部分を占めている。購入農機具は一二五、九〇三圓、米一石二斗五升、麥三斗五升である。



種 類	種 類	數 量	價 格
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	四、六五〇
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	五、九二五
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	一、七〇〇
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	七、七五〇
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	一〇、三二〇
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	二、五〇〇
シ ャ ツ 地	シ ャ ツ 地	一	三、六九二

報 獎 配 給	地 下 足 袋	計
夜 具 地	夜 具 地	
六八八	八、三〇五	九、〇〇〇
三六	八、三〇五	九、〇〇〇

かく配給衣料類は戸當り平均一二點、二二〇圓である。

二、開購入衣料類

購入衣料類は農村必需物資中、最も重要な項目にして、購入農家は九四戸中六五戸で過半はローカーより入手、物交もすくない。

種 類	數 量	購 入 形 態		價 額	備 考
		現 金	物 交 金 及 物		
作 業 衣	一七三着	三	八	五、〇〇〇円 米一石四、大麥三斗、小麥粉三貫 一、三〇〇円 米一石五	四着米三斗、六着米一斗五升、麥三斗、七着三、五〇〇円、小麥粉三貫、一〇着三、〇〇〇
地 下 足 袋	一〇六足	三	三	一、〇〇〇円、三足米一斗	五足一、〇〇〇円、三足米一斗
布 地	四反	七	五	一、五〇〇円	浴巾一〇反七、七〇円、木綿一四反四、〇〇円、米九斗五升、三反米三斗、木綿一反六〇〇円、米五升
服、着 物	三着	三	三	三、三〇〇円	學生服九着三、三〇〇円、着物四着、三、〇〇円、シヤツ二着
シヤツ、ズボン	一式	一	一	二、〇〇〇円	二、〇〇〇円米五升麥三升、×キーン八着三、一〇〇円
結 婚 衣 袋	一式	一	一	一、五〇〇円	米六斗、米麥三俵
其 の 他	三〇點	二	一	一、五〇〇円	五點二、八〇〇円米三斗、三點三、〇〇〇円(七割)米麥三俵(三割)カナー、三、〇〇〇円



計	五五	七〇	六六	八八	三五、〇〇五円 米四石七斗四升、大麥斗三升、小麥斗、押麥斗五升、米麥三俵、小麥粉三貫
---	----	----	----	----	---

かく總戸數戸當平均五斗二、七三五圓、實際購入戸數平均八斗強、四、〇〇〇圓弱を購入してゐる。年作業、衣、上下三組、地下足袋三尺の希望が多い。

食料品嗜好品購入額

一、配給食糧嗜好品價額

種類	数量	價額	受配戸數
味噌	三、六六〇	三、六六六円	五戸
味噌油	八、八〇〇	五、六〇六円	五戸

配給品は味噌、醬油、煙草、酒で味噌の受配戸數は僅少である。

巨額に達してゐる。

二、購入食料品嗜好品價額

購入関品は鹽、煙草、醬油、酒で鹽購入農家は頗る多い。

種類	数量	價額
鹽	一、五三、四〇〇	一、七七八
煙草	三、二、八〇〇	五、六〇〇
酒	六三、六	一九、九八〇
計		八、三六八

種類	件數	商店名	現金物交金額	數量	價額	備考
鹽	三三	三五	三三	二二	三九、九〇〇	現物(米四石、麥類四石、小麥粉二八貫)一五貫(九貫一八〇圓、六貫米一斗五升)三〇貫(米二斗五升、小麥三斗)五貫(一、〇〇圓)
煙草	二八	二〇	八二	二一	三、七〇〇	キザミ一個、大麥一升、甘藷一貫
醬油	二五	三三	二二	一一	三、三〇〇	現金(五九〇)一斗(一、〇〇圓)三斗(米六斗)
酒	八	八	八	一	一六、九〇〇	現物(米八斗六圓)〇〇
計					一六、九〇〇	

かく顯九九、九五〇圓、煙草二六、七一〇圓、醬油二二、三二〇圓、酒一六、九五〇圓、計一六五、九三〇圓、戸當り一、七六五圓で餘は一、二兩需要を充し得ない。

自轉車、リヤカー類購入額  
自轉車リヤカー類は取引先が商店三三、プロカー二四で、別購入額は次の如くである。

種別	購入数量			價額	備考
	數量	現金	物交金及物		
自轉車	七臺	六	一	三五,五〇〇 米一俵	一臺(二,五〇〇円)、一臺(米二俵)
自轉車 タイヤ	三五本	六	一	三一,〇〇〇 米四斗	二本(二,五〇〇円)、二本(米四斗)
自轉車 タイヤ ブ	二四本	二	一	二六,〇〇〇 米一,〇〇〇	二米(二,五〇〇円) 二本(二,〇〇〇円)
リヤカー	一臺	一	一	五,一〇〇	二本(五,〇〇〇円)
リヤカー タイヤ	八本	二	一	一六,五〇〇	二本(米四斗)
リヤカー タイヤ ブ	五本	二	一	三,五〇〇 米六斗五升	二本(一,六〇〇円)
リヤカー タイヤ ブ	四本	二	一	四,〇〇〇 米四斗六升	二本(一,六〇〇円) 二本(米一斗五升) 二本(四〇〇円米八升)
リヤカー タイヤ ブ	二五本	四	一	三,〇〇〇 米一斗五升	二本(二,五〇〇円) 四本(二,〇〇〇円、米一斗五升)
リヤカー タイヤ ブ	二〇本	八	一	三,一〇〇 米二石	
リヤカー タイヤ ブ	八臺	一	一	二,一〇〇	
計	一五本	一	一	二二,〇〇〇	

總額二三七、六三〇圓、戸當り二、四三二圓にして、年間タイヤ二本希望農家が二三戸であつた。

農業、飼料、種苗、家畜、漢藥、新聞、

雜誌、ノート購入額

## 一、農業藥劑

農業藥劑の使用は極めて少く、農業會より硫酸鉛を少量受配しているに過ぎない。報告農家一八戸、うち一四戸が硫酸鉛三四袋、一袋②四圓二三六圓、其の他水銀劑、王銅等を少量購入している。

## 二、飼料

糠五件 二六・二石 二三、九〇〇圓、穀二二件 三一五貫七、八五〇圓 米四斗五升

## 三、種苗

四〇件 一一、九七五圓 トマト、茄子等

## 四、家畜

一二件 牛二頭 四五、〇〇〇圓 馬二頭 二九、〇〇〇圓（内三、五〇〇圓林木支那）、豚一頭 米一俵、仔豚一頭 二、〇〇〇圓、羊二頭 八〇〇圓、山羊二頭 五五〇圓、鶏一五羽 一、三四〇圓、子兔九匹 三五圓

## 五、醫藥品

醫者一五、商店一〇、ブローカー一五、三七、七九二圓

## 六、新聞、雜誌、ノート

三八件 一〇、四八八圓

## 要 望 事 項

- 一、肥料、衣類、藥、味噌、煙草の増産を望む
- 二、供出農産物の大幅傾上を望む
- 三、農村の實態を把握考慮して施策され度し
- 四、農機具類等物價引下げを望む
- 五、供出物に對する報奨配給に關する政府の實行を要望す
- 六、農機具類の圓滑なる配給を希望す
- 七、自家保有迄も物交して代用食する農家多きを考慮され度し
- 八、供出一〇〇%完了せば自由販賣にされ度し
- 九、正式ルートに乗すべきである
- 一〇、供出引換肥料代金の精算を速かにすべきである
- 一一、縣直營の農機具、自轉車、リヤカー等の修理工場の設置を望む
- 一二、文化施設、娛樂機關の設置を望む
- 一三、冠婚葬祭に巨費を投ずる悪習を打破すべし
- 一四、耕地に對し家族員數多く、従つて供出不良となる
- 一五、縣直營肥料會社を設置し、肥料を配給すべきである
- 一六、農村電化に關し具體的に協力、援助を希望す
- 一七、農村衛生施設を強化願ひ度し
- 一八、空欄

一三

六七

三四

二〇

一九

一一

一〇

九

四

三

三

三

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

農村必需物資配給並資本蓄積實態調査(松久村約衣)

調査農家階層別耕地面積及家族員數

農家番號	階層	耕地面積	山林所有面積	家族員數	家畜數
(10)	自作農	畑田 七・八〇〇 <sup>反</sup>	七・五〇〇 <sup>反</sup>	八人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(9)	地主自作農	六・〇〇〇	八・〇〇	八人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(8)	小作農	五・三〇〇		七人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(7)	自作農	四・六三三	〇・八〇	六人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(6)	自作農	四・四三三		三人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(5)	自作農	四・八〇〇		二人	馬一頭
(4)	自作農	五・五〇〇		八人	馬一頭
(3)	小作農	五・八〇〇		七人	馬一頭
(2)	地主自作農	六・〇〇〇	八・〇〇	八人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭
(1)	自作農	七・八〇〇 <sup>反</sup>	七・五〇〇 <sup>反</sup>	八人	馬一頭 牛一頭 豚一頭 山羊一頭

(註) 二二年度反當田植費

田ヌキ 六〇〇圓、田カキ 六〇〇圓、ヌキカキ 一、〇〇〇圓—一、三〇〇圓(米なら一斗五升)  
 田植 八〇〇圓、(米なら八升—一斗、苗取代は田植同様) 一番除草 七〇〇圓

肥料

(1) 農村必需物資配給實態調査 (松久村調査)

(4)		(3)	(2)	(1)	農家
山落葉	大豆粉	硫酸灰窒素安	硫酸灰窒素安	魚肥	種類
購入	買出物	農業者會配給	農業者會配給	農業者會配給	取得形態
五反歩分	米	米斗、馬鈴薯	米	米	購入数量
100.00	四升	100.00	一七五・七	11.500.00	購入價額
(加反當) 畑水田	(反當) 畑水田		大豆 加過 硫酸		年所要量
三三	七五		100.00 七石	100.00 七石	
	堆厩肥 約六五〇〇	草、糠、堆肥	人糞	糞葉	自給肥料使用量
		草、糠、堆肥	200	500	

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)
配石硫 灰 窒 合素安	大硫 豆安	配石硫 灰 窒 合素安	配石硫 灰 窒 合素安	配 合	燒石配 灰窒灰窒 素窒窒窒 安窒窒窒	魚 粉
農 業 會 配 給	行農 商業 會 物配 交給	農 業 會 配 給	農 業 會 配 給	農 業 會 配 給	地商農 方商業 商人人會 物物配 交交給	商 人 ①
10,000 10,000 10,000		10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	10,000
三六三六	米 二斗	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	10,000	二斗 二升五合	米 馬鈴薯 一、八、五、五 二、二、二、二	10,000
		5,000 5,000 5,000 5,000 5,000			窒素、磷酸、加里 各々約五貫位	水田 澆作 澆安 加里
	堆肥 人糞尿	堆肥 糞糞	堆肥	堆肥	堆肥 田(反當豆) 畑(桑園共)	10,000

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	農具 種別	取得形態	購入數量	購入價額	年所要量	摘要
	録 睡 録 的	其 他 録 織 機 伊勢崎町 松久村 東見王村 商人	靴 總 草 録 携 綯 刈 録 商人 商人 農業者配給	電 動 機 萬能録 天刈録 草刈録	種別 取得形態 農業者配給 農店配給 商人物文 現金	取得形態 農業者配給 農店配給 商人物文 現金	購入數量 二丁 五 五	購入價額 二斗(200.00) 一斗(100.00) 一斗(100.00) 五 五 五	年所要量 三丁 五 五	摘要 必要農具の配給 無し
番號	農具種別	取得形態	購入數量	購入價額	年所要量	摘要				
一	二	三	四	五	六	七				

自轉車リヤカー類

(3)	(2)	(1)	番 農 家 種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
自 轉 車 リ ヤ カ ー	自 轉 車 タ イ ヤ リ ヤ カ ー タ イ	大 型 リ ヤ カ ー	種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
農 業 會 社	松 久 村 商 店 ④	商 店 ④	種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
一 臺	二 本	一 臺	種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
〇四〇,〇〇〇	五,〇〇〇 一斗	二五,八七〇 〇五	種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
	自 轉 車 各 一 タ イ ヤ チ ユ ー ブ 各 一 タ イ		種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要
			種 類	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	檢 査 要

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)
荷 車	飲 車	銀 線	補 新 筵 鐵 籠 調 修 理 類	商 業 會 社
商 店 ④	農 業 會 社 給	商 人 ④	商 人 物 交	商 店 ④
一 二	二	一〇丁	一〇箇 五 一 一 丁	
八,〇〇〇.〇〇	三〇.〇〇	三,一八〇.〇〇	米 一斗(一,〇〇〇) 米 一斗(一,〇〇〇) 米 一斗(一,〇〇〇)	五,〇〇〇.〇〇 一六,七
	共 同 機 具 使 用 費、 修 繕 費			



(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)
無	自 轉 車	タ イ ヤ 車	リ ヤ カ ー タ イ ヤ 車	リ ヤ カ ー	自 轉 車 附 屬 品	自 轉 車 タ イ ヤ リ ヤ カ ー 古 タ イ ヤ
	自 轉 車 店	商 人	商 人 物 交	商 店	地 方 商 人	農 業 會 社
	一臺	二本	二本		一 修 理 費	一本
	二八三〇	二,〇〇〇	四,〇〇〇	一,二五〇	〇〇〇 一〇〇	米 三
			小 麥 一 俵 (五,五〇〇)	米 二 俵 (七,〇〇〇)		一本
			リ ヤ カ ー タ イ ヤ 二 本	自 轉 車 タ イ ヤ 二 本		一本
						一 年 修 繕 費 二,四〇〇 円

## 衣料類

(2)	(1)	農 家 番 號	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	備 考
夜 具 他 銘 仙	〃		雜 品	農 業 會 社 配 給	紺 反 一 ト 三 ト ズ ボ 一 、 手 拭 二 、 襪 二	〇〇,〇〇〇 〇〇,〇〇〇 〇〇,〇〇〇	夜 具 地 七 反	本 物 作 業 衣 配 給
ブ ロ ー カ ー	行 商 人		農 業 會 社 配 給	取 得 形 態	紺 反 一 ト 三 ト ズ ボ 一 、 手 拭 二 、 襪 二	三三,〇〇〇 三三,〇〇〇 三三,〇〇〇	夜 具 地 七 反	本 物 作 業 衣 配 給

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)
布地洋布 下足服地 地袋服地		地作布 下業衣 足尼布 地地	反, 作着 業業 衣衣 服服 物物	雜 雜 品 品
商商商農 人人人業 物物物會 交交交	商農 店業 行會 商會	商商農 人人會 人會	商 商 人 人 物 物 交 交	農 農 業 業 會 會
			女子供厚生服等	數十點
衣具地紺反物 銘仙		一六點 六	圓, 女用作業衣等	作業衣四着, 地下足 袋三足, 布地, シ ト等
一着 二足 三反		米	米	米
一俵(四,000.00) 二俵(2,000.00) 三俵(2,000.00)	二,094.3 六,018.5	一,111.00 三,433.00 三斗	二,800.00 二,200.00 六斗	一,566.00 一,500.00 一,500.00
小麥二俵(1,000.00)			水綿一反, 1,000円 學生服一着, 米三十 女用反物一, 500円	婦人子供作業衣不 足
				小麥粉 米 一石 三石
				他町村商人 兒玉町農業會 他町村商人 外數十點 木綿七反, 服 紺三反, 木綿三反,

食料品嗜好品類

(10)	(9)	(8)	
布 雜 地 品		ソ、 ズ、 服、 ボン、 ン、 ンヤ	毛 糸 作 業 衣
商 農 人 業 會 會	商 農 店 業 會 會	商 農 人 業 會 會	商 人 物 交
④ ⑤	④ ⑤	④ ⑤	
手 地 拭 下 ④ 足 ④ 袋 ④ 一、 ④ 紺 ④ 反			數 粘 米 甘 藷 (五、六、七〇〇)
二反		一 粘 不 明	
	④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤	④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤	

(2)	(1)	農家 香號	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	備 注
香 油	煙 酒 角 草 類	煙 酒 草	煙 酒 草	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	備 注
農 業 會 會	商 農 人 業 會 會 物 會 交	農 農 業 業 會 會 配 配 給 給	④ ⑤ ⑥			一、三、七、〇、〇〇 四、三、三、〇、〇〇 二、〇、三、三、〇、〇〇		醬油 味噌 四斗 樽 一石
自由	練、 製カ、 、 餅					三、〇、〇、〇〇 一、五、九、〇、〇〇 三、七、〇、〇〇		配給の一〇倍 充分
一石 四升	一六〇〇 四七本 米三俵					六、〇、〇〇 米三俵		鹽 必要量配給希望

	(6)	(5)	(4)	(3)
醬	煙酒鹽醬	煙酒鹽醬	煙酒鹽醬	煙酒鹽
油	草油	草油	草油	草
農	指指商農農	指指商農農	商配商配商配農農	商指商農商農
業	定定人業業	定定業業	給人給人業業	定業業
會	店店物會會	店店人會會	店店物店會會	人店人會會
◎	◎◎交◎◎	◎◎◎◎	◎◎◎交◎◎	◎◎◎◎◎◎
七升	四斗		餅、糖、鹽、カラ等 九升六合 一、三〇〇元 七斗 一升五〇 二斗六升 三、三〇〇元 五斗 三、三〇〇元 五斗	ミノリ 二、〇〇〇本 三〇〇個 八貫 二斗 五貫 米四斗、小麥粉二貫 二、五〇〇
	米		米	押麥 五、八〇〇・八貫 二、〇〇〇・〇〇 八貫
二〇〇・〇〇	六八・〇〇 五五・〇〇 五五・〇〇 六斗 五五・〇〇 五五・〇〇	六四・〇〇 一四六・五〇 六四・〇〇 五七・〇〇 五七・〇〇 五七・〇〇	二、三六二・〇〇 二、三六二・〇〇 七、九二〇・〇〇 一、〇〇〇・〇〇 一、〇〇〇・〇〇 一、〇〇〇・〇〇 八、四四升	三五〇・〇〇 七五・〇〇 六一〇・〇〇 六一〇・〇〇 八、四四升
		味噌四斗入	醬油自家用	
		一石以上	二斗	
四斗入		一本	自家用味噌	醬油
一個			二〇貫	一石

(10)	(9)	(8)	(7)
煙 酒 鹽 醬 味 草 油 噌	鹽 醬 煙 草 油、鹽、酒、	煙 酒 鹽 魚 草 類	煙 酒 鹽
商指 商指 商農 商農 配 定 定 人 人 給 人 人 物 物 會 店 店 交 會 店 ①② ③④ ⑤ ⑥ ⑦	商 配 人 給 物 店 交 ⑧	商指 指 商 商 定 定 人 店 人 店 店 店 ①②③④ ⑤ ⑥	指 指 行 農 定 定 商 業 店 店 物 會 ⑧ ⑨ 交 ⑩
四升一合 一斗 六斗 三升六合 二斗五升	米 二斗 三斗	一斗五升 一斗 三升二合 二斗	一斗二升 一斗 二斗
四、〇〇〇 三、〇〇〇 一、五〇〇 一、二〇〇 三、〇〇 物交	二、五〇〇 三、〇〇〇	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	米麥 一、〇〇〇 一、〇〇〇 九、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
一十三升 二三貫			
一〇貫	自家用醬油 七斗	自家用醬油 一石	味噌四斗入 二個

## 飼料

番號	農家	種類	取得形態	購入數量	購入價額	年所要量	摘要
2)		穀類	物交	一〇俵	米 一俵(1,000)	二五俵	五俵
(3)		麥糠	兒玉町 松久村 物交	一八俵 一俵 五八	四、八〇〇 四斗 三俵		三俵
(4)		麥糠	農業者會	一〇俵	五、〇〇〇		麩糠 大麥 五俵
(5)		穀類	農業者會	四俵	一七、五〇〇		雜粉 麩糠 一石
(6)				二、〇〇〇	二、〇〇〇		大小麥米糠 一、五〇〇
(10)				四俵	一、〇〇〇	三俵	十俵

## 農業藥劑

(4)	(3)	(2)
鼠取消毒劑	ホルマリン等	ホルマリン
商人	農業者會配給	高農、業店會
⊕		⊕ ⊗
		一二本
		三〇〇〇
二七〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇
		三本
野菜消毒劑少量		

(1) 農家 種別		(10)	(9)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(1)	種苗		
馬	種類					大葱、白菜、 人参等	桑苗	葱、人参、 キヌウリ			ホルマリン	
	取得形態	農業會配給	行商	商人	農業會配給	地方商人	農業會配給	他町業 村會		商人	農業會	
	購入數量					三	桑苗二〇本、 野菜、 種子、蠶種	二升五合			一本	
	購入價額	100.00	220.00	500.00	110.00 392.00	220.00	1,333.00	1,280.00	1,211.00	220.00	14.60	
	年所要量						蠶種 五〇瓦					
	摘要											

種 藥 品

(4)	(3)	(2)	(1)	番 號	農 家 種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	備 要		
	兒松 王久 町村		農 業 會 ◎				義齒、日本藥品	四、四三〇・〇〇 三、三三〇・〇〇 三、〇〇〇・〇〇 二、三三三・〇〇 二、六〇〇・〇〇				
(9)	(8)	(7)	(5)	(4)	(3)	(2)						
豚牛	豚	馬	野馬	死馬	豚	豚						
		牛 馬 商	地 方 商 人	商 人	松 久 村	物 交	子豚 子牛 一 一 一	馬一頭交換打金 二羽 一、〇〇〇・〇〇 三、〇〇〇・〇〇 二、〇〇〇・〇〇	馬一頭交換 二匹 米二俵 (三〇〇) (三〇〇) 五、〇〇〇・〇〇	一頭 米三斗(一、五〇〇・〇〇)	豚牛 一頭	二頭賣却



(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	農家 番號	種 類	取 得 形 態	購 入 數 量	購 入 價 額	年 所 要 量	備 註
	薪ボ落 ヤ葉	薪ボ木 ヤ炭	薪ボ ヤ	木 炭								
秋 平 村 等 ㊟	村 内 山 林 ㊟	山 林 所 有 者	㊟、現 金、物 交	農 業 會 配 交 給								
	薪ボヤ 落葉 ボヤ	木炭 マヤ	薪ボヤ 六〇〇東(立木)	炭炭 二俵								
	米 一斗(二五〇・〇〇)	米 五升(二五〇・〇〇)	米 八斗	米 二斗								
	三、五〇〇・〇〇	六、九八・〇〇	三、五五〇・〇〇	二、五〇〇								
	年	一 年 八 ヶ 月 分		炭 一 五 俵								
					薪 三〇東							

(9)	(8)	(7)	(6)	(5)
大 部 分 治 療	治 療、 藥 品	醫 者、 賣 藥	地 村 方	醫 器
				治 療、 藥 品
三、五五〇・〇〇	二、三三〇・〇〇	三、一〇〇・〇〇	八、〇八〇・〇〇	三、〇五五・〇〇

新聞、雜誌、教科書、ノート、ラヂオ等

(10)	(9)	(8)	(7)
半分物交	㊟八割	三〇〇	三〇〇
一、〇〇〇 〇〇	八〇〇 〇〇	三、〇〇〇 〇〇	三、〇〇〇 〇〇

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	番號	農家
				ラ ノ 教 デ オ	ラ 新 デ オ	ノ 教 ト	新聞、雜誌、 教科書、 ノイ、 ト	種 類
								取 得 形 態
				新聞 一年分 六册	一			購 入 數 量
				一 米 八升(四〇〇 〇〇)				購 入 價 額
五、〇〇〇 〇〇 一、〇〇〇 〇〇 三、〇〇〇 〇〇	一、〇〇〇 〇〇 一、〇〇〇 〇〇 二、〇〇〇 〇〇	二、〇〇〇 〇〇	一、〇〇〇 〇〇	三、〇〇〇 〇〇 一、〇〇〇 〇〇	一、〇〇〇 〇〇 一、〇〇〇 〇〇	一、〇〇〇 〇〇 一、〇〇〇 〇〇		年 所 要 量
								摘 要



- (2) 二,〇〇〇(モーター) (4) 一,〇〇〇米一俵(モーター)  
 (5) 二,五〇〇

(イ) 農機具

二七,五七六圓

- (1) 六,五五〇(穀播機) (2) 五,〇〇〇(運搬車) (4) 一,〇〇〇(ベルト) (二、八〇〇(脱穀機) (三、〇〇〇)チツナイ  
 機) (一、九〇〇(穀播機)(共) (6) 五,一六六 (7) 三,〇〇〇

(ニ) 家畜家禽

二六,四五〇圓

- (1) 一〇,〇〇〇(馬交) (2) 一,五〇〇(仔豚) (4) 三〇〇  
 米一俵(馬交) (5) 一,三五〇 (7) 八〇〇 (8) 二,八〇〇  
 (豚) (9) 六,五〇〇(牛一、豚一)

(ホ) 自轉車リヤカー等

五一,七六九圓

- (1) 一〇,〇〇〇(リヤカー) (2) 八,〇〇〇(リヤカー、自  
 轉車) (4) 二,四七五 (5) 一〇,九四四 (6) 一,三五〇  
 (7) 一,四五〇 (8) 六,五五〇 (9) 三,〇〇〇(自轉車)  
 (10) 八,〇〇〇(荷車)

四、経営生活教育投資額

三三三,四一八圓

(イ) 肥料(馬鈴薯買二五圓)

四四,三九三圓

- (1) 一四,〇七二 (2) 二,〇〇五米二俵 (3) 二,二三〇馬  
 鈴薯一〇〇貫、米一斗 (4) 四,六八九 (5) 二,六六一 (6)  
 二,四三〇 (7) 一,六四〇 (8) 一,一五一 (9) 三,四五  
 二 (10) 三六三

(ロ) 衣料(小麦粉買二〇〇圓)

九九,七二九圓

- 1) 二五,三六九 (2) 九,三八〇 (3) 八〇〇米一石、粉三

- 五貫 (4) 一三,三〇〇 (5) 四,六一四 (6) 八,一一六  
 (7) 一三,〇〇〇 (8) 三,四五〇 (9) 六,三〇〇 (10) 四〇

(イ) 冠婚葬祭

一〇八,八九六圓

- (1) 五,五〇〇 (2) 一三,五〇〇 (3) 六五〇米七斗五升  
 (4) 二,二九八 (5) 八五二 (6) 四五〇 (7) 六〇〇 (8)  
 七,五二〇米三俵 (10) 五八〇

(イ) 教 育

一一,八五〇圓

- (1) 一,四四七 (2) 五,〇〇〇 (3) 三〇〇 (4) 五三七  
 二,六八五 (6) 五五〇 (7) 一,五〇〇 (8) 八二一 (10)  
 二八〇

(イ) 其 他

一〇八,八九六圓

- (2) 五,〇〇〇 (3) 六〇,〇〇〇 (4) 三,六八七、工業投  
 資二五〇、土地購入四、三二〇 (6) 九,〇〇三 (7) 二,〇〇  
 〇 (8) 六二一 一五,〇〇〇(商業投資) (9) 七,七九一  
 (10) 六,二二四

五、農村負擔額

四〇,四三五圓

(イ) 公租公課等

一六,二〇圓

- (1) 三,二五五 (2) 一,八〇〇 (3) 一,八六九 (4) 二,七  
 三六 (5) 一,五四二 (6) 一,三七〇 (7) 一,四三五  
 一,八三三 (10) 三七〇

(ロ) 臨時所得税

二四,二三五圓

- (1) 二,一七九 (2) 一,六五〇 (3) 五,九二〇 (4) 二,五

五〇 (5) 七、八四五 (6) 一、〇七二 (9) 三、〇〇九  
 六、農家所得 ① 一一七、七三八四 計三七二、八七一四  
 ② 二五五、一三三四

二、山村の一断面

—— 観察・生産・供出 ——

廣澤吉平

- (1) 二二、二六一  
 五一、二六一 (2) 一一、二二二  
 二二、五〇〇 (3) 二四、五六〇  
 四二、一五〇 (4) 一三、四五九  
 四、八四〇 (5) 四、八四〇  
 二、五〇〇 (6) 一七、六〇九  
 一、八、八六一 (7) 一〇、〇〇〇  
 六五、五三〇 (8) 二九、八八六  
 二、九、一八〇 (9) 一五、〇〇〇  
 一〇、〇〇〇 (10) 七、五三〇

七、意見

- (f) 土地購入資金苦慮考慮 (g) 購入品過高で資金減少 (h)  
 供出支拂代金交付遅延 (i) 反別割富預金制

(埼玉縣駐在研究員)

部落戸數(職業別)(人口別)以下すべて昭和二十二年七月一日現在

在來者	農	農業労働	農家専事	商	理髮店	染色	工員	無職	計
疎開者	(四)人	(一)人	(七)人	(二)人	(三)人	(一)人	(七)人	(一)人	(一)人
計	(三)人	(一)人	(四)人	(三)人	(四)人	(七)人	(六)人	(三)人	(一)人

備考 在來者無職の四人は何れも老人、三名は隠居した老人、他の一名は不具者。疎開者無職戸數中夫の職災死三、夫在京中のもの三、引揚二、病氣歸省中のもの一戸等がある。農家事手傳は何れも血縁關係の者。但し農家中引揚げ歸農者、疎開者各一名。

われる。この村に源を發する櫻川はこの部落の南側を流れ、土性は砂礫壤土でこの村の穀倉地帯をなす。この部落がこのような性格をもつことと驛（水戸驛、岩瀬、羽風）へ近いということも重つてか、戦時中から疎開したものが多く（現在二〇戸九二人）部落の職業構成乃至人口構成に急激な變遷をもたらししている。まづこの部落の基本構造を示せば前表の如くであり、この部落の職業地所有状況

部落全體	田	地		山林	合計
	加	計			
一農家平均	三九七 <sup>反</sup> 六四	二〇〇 <sup>反</sup> 四七	六八七 <sup>反</sup> 二・二	二四九四 五・六	一〇三六八 二六七

業構成、人口構成を見るに農家が支配的に多く在來からのもの

農業經營規模別及兼業農家戸數（括弧内の数字は本人又は家族の兼業戸數）

自作	階層別	經營規模別	階層別	
			戸數	階層別
兼業乃至 農家性格	一	二反	一	二反
	(0)	反		
一戸（疎開者）	二	三反	二	三反
	(1)	反		
一戸（息子アリキ） 一職人工具各	二	三反	二	三反
	(1)	反		
一戸（精米）	二	三反	二	三反
	(1)	反		
一戸（精米）	五	一五反	一	一五町
	(1)	町		
一戸（保險代）	四	一五町	一	一五町
	(0)	町		
一戸（保險代）	一〇	一・五町	一	二町
	(1)	町		
一戸（保險代）	六	三町	三	二町
	(1)	町		
	三〇	計	三〇	計
	(5)			

について言えは、老人の三名と不具者一名の二戸を除けば、無職者が皆無ということである。

耕地は田か畑より多く一農家平均一町一反一畝にあたる。この部落には大地主はなく敷町歩程度のもの純小作農か六二戸の内一八戸である。山林についても大所有なく三十四町九反の山林が十八戸に配分されている。

#### 山林所有階級別

戸數	山林所有階級別	計
一	未滿一反	一
九	一反以上一町未滿一五反	九
三	一町以上一町未滿一五反	三
三	一町以上一町未滿一五反	三
二	一町以上一町未滿一五反	二
一八	計	一八

この部落ではこの山林だけでは不十分であり、冬期間他部落の落葉を買入れて地肥とすることが重要な仕事となつている。

計	小作		自小作	
	戸数	業業乃至 農家性格	戸数	業業乃至 農家性格
四 (2)	三 (2)	<sup>二</sup> 戸 (精米) <sup>一</sup> 戸 (農林業労働) <sup>一</sup> 戸 (夫職死生活保護)	〇	(0)
四 (3)	一 (1)	<sup>一</sup> 戸 (木挽)	一 (1)	(1)
一〇 (6)	七 (4)	<sup>二</sup> 戸 (農業労働) <sup>一</sup> 戸 (炭焼) <sup>一</sup> 戸 (息行商) <sup>一</sup> 戸 (小家族) <sup>一</sup> 戸 (夫職死生活保護)	一 (1)	(1)
一七 (8)	六 (5)	<sup>一</sup> 戸 (白職) <sup>一</sup> 戸 (息行商) <sup>一</sup> 戸 (息下駄屋) <sup>一</sup> 戸 (行商) <sup>一</sup> 戸 (農業労働)	六 (2)	(2)
七 (0)	一 (0)		二 (0)	(0)
一一 (1)	〇 (0)		一 (0)	(0)
九 (1)	〇 (0)		三 (0)	(0)
六二 (21)	一八 (12)		一四 (4)	(4)

経営面積一町以上のものが本来の専業農家に富り、一町一五反のものは小家族のものを除き殆んど兼業をもち、五反以下はいわば飯米農家といわるべきもので、農業の外に生活の重要な根拠を求めていゝものである。たゞ小家族であるとか生活保護をうけていゝとかいう特殊事情のあるもののみが、その例外をなしているに過ぎない。

農産物としては米を王とし、麦、甘藷、馬鈴薯、烟草、蕪等であ

る。かつては養蠶も盛んであつたが最近は桑園は食糧作物や麻草に轉換される傾向があり、春蠶と晩秋蠶を行つていゝもの数戸か見受けられる。

農業經營規模別牛馬所有農家戸數（括弧内數字は牛馬なまきものをも含む）

備考	數戸有所				一 反—二 反	二 反—三 反	三 反—五 反	五 反—一 町	一 —五 町町	一 —五 町 町	二 町—三 町	計
	計馬牛	自作 計馬牛	自 小作 計馬牛	自 作 計馬牛								
備考 各家は一頭をもつに過ぎぬ。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	(3)	(1)	(1)	(4)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(10)	(7)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(17)	(6)	(6)	(5)	(7)	(1)	(2)	(4)	(1)	(1)	(1)	(17)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3)	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(11)	(1)	(1)	(10)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(11)
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(9)	(1)	(3)	(6)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(9)	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
(62)	(18)	(14)	(30)	(17)	(4)	(7)	(11)	(4)	(4)	(1)	(62)	

二

私はこの調査に際し農村の基本的實態を知るに必要な事柄と農村の必需物資の配給の實態—正規ルート以外のものを含めて—を知ることにできるような表をつくつて全部若九〇戸（内農家六二）へくばりその記入をお願いした。調査の基準は七月一日とし過去一ヶ年に遡ることとした。他面これと並行して各戸の個別訪問をできるだけ多くしようと努めて見た。しかし表はあつて見たが自分の希望するように赤裸々に記されているものはまことに寥寥たるものである。自らの不明をはじるのではあるが、このことは

記載でもしていない限り記憶を辿らねはならぬということや、その他の事情によるものもあろう。こゝに気がついたことは、少くも正規ルートの配給品については、配給帳を備えてもらうということが適正なる配給を保障する意味においても極めて必要である（肥料についてはそうなるというが）。このままではこの表からの量的表現はあまり意義かない。そこで農村の真相をつかむ道は少なくとも私は、頭と脚による外はないと考えた。以下記するものは私の頭と脚で書いた農村の一断面である。

何といつても配給について重大關心をもつものは一にも二にも



肥料殊に窒素肥料、これにつぐものとして衣料類（殊に地下足袋、作業衣）と農機具類である。自働車の如きはもらえぬものとあきらめておられる。只昨今の報奨用の酒については嘆息をもらすものさえ出た。それは量の多いのに焼くのではなく、供出物代價のかなりの部分が酒代として消えるから「政府は報奨品を通じて農家の現金を中央へ集めインフレ防止を策しているのではないか」などとうがったことを言うものも出る仕末。

肥料については増配は勿論望むところではあるか、適期配給の要望がつよい。最近の配給肥料が昔のそれとちがいが肥効の大なることを喜ぶ反面、硫酸等について目減の入なることに嘆息をもらす。私は七月頃たま／＼實行組合の配給してあるのに出會したものであるか、硫酸（十二貫入）五袋、過燐酸（十二貫入）五袋かの配給であつたかと思ふが、過燐酸については一寸も目減がないのに硫酸については一袋一貫乃至二貫というひどい目減。さしてさし跡のあるもの一つ種がゆるんでいるものも一つといふ有様。農民はこそつて責任の所在について論じあつたものの一刻も早く施肥を急ぐ時期であるので立駈入りする仕末。肥料の完全包装と完全輸送こそ、増産上刻下の急務であることを痛感する。

硫酸について末端にはその施用方法が徹底されていない。殊に新肥料施用方法についての末端への徹底的な指導が必要である。石灰窒素についてさへ今日尙失敗してゐるものが案外少くないのに驚く。農業科學術の民主化こそ急務である。

農機具類については、名目上の廉價といふことよりも質的に廉

價なるものをということ、部分品の配給をも考慮していただきたいといふ聲が入てある。とりわけ地方での農機具修理費は巨額であるといふことである。また曾て使用にたえない鐵の配給があつたので返品したといふこともきいた。配給のルートはよくはわからぬという。

更に立入つて農村の際をきこう。就中現在の報奨制に對する小農の批判の感覺は鋭い。最も重要な肥料、農機具、衣料類が報奨品とされて居り、これらの物資に恵まれていない小農は供出量が無いかまた有つても少量しかないので配給をうけることが出来ないからである。この村の年間配給窒素肥料二四、九一二貫（硫酸換算）のうち、窒素肥料は實に九、六〇九貫（硫酸換算）といふ量が報奨用に廻され、これが一部少数の農家に配給されるのにひきかえ、小農は反別割當の肥料のみで一切當農することを餘儀なくされている。だから水田なら苗代に施肥すればあとの本田は無肥料栽培が必至。そこで小農の作柄が中農以上のそれに立後れるのも自然であり、更にマイナスのハンドエキヤソフが附加されるわけである。これらの多くは小作農地であることから地味、水利が不利、又山林のないために自給肥料の不十分、また更に管理の不十分といふ事情がつづく。というのは、彼等は生活の再生産の維持のために賃労働（一面食ひ延し）や行商等をしなければならぬから。かくして小農の墾耕地は睡眠状態に陥りがちであるという。そこで、肥料殊に窒素肥料は天候と共にその生産量を規制する決定的モメントであることを思うとき、窒素肥料だけは凡

て反別割當配給とすることが最も妥當であるといふ感を深くする。また小農は作業服、地下足袋についても同じ要望をもっている。

小農は、生活のために賃労働に従事するといつたが、今日の事情はこの機會も比較的にな少ないということが注意されねばならぬ。農地改革、小作料の金納化の方、自作農はかなり無理な仕方て労働力以上の耕作をしているものがあるという。しかし飯米の不充足ということや労働の高騰ということから、労働力の雇傭をさしひかえる傾向のあることは顯著である。かくして經營は粗放となるのであるが、懸眼の士は昨今の小作料と供出品代價とその報奨品との比較を忘れないという。こゝにも増産の隘路が横わつてゐることが看過されてはならない。

これは私の調査した部落のことではないが、他の部落に報奨品の民主的配給の要望が強いという噂をきいた。それは「苟しくも農民として食糧生産に従事している限り、労働するということと物食が必要であるという點では全く同じであるから、肥料はともかく、その他の物は凡て平等に分配すべきである」という主張である。そこで農民の中には報奨品の役場による個人配給を要望するものも現われたという噂。私の調査した部落には三つの實行組合があるが、その中には肥料以外の報奨品については、大量供出者が自發的に若干の潤いのある配給をしている組合もあるとの事である。

最後に供出制度について一言觸れたい。供出は追加割當だけは

絶対に避けてもらいたいといふこと。この部落にもこのことも一因となつて、昨年馬を手離したという悲劇もおこつたという。次に綜合制である。

綜合制はたしかに供出を容易ならしめる制度であるが、この愚典に浴する程度は經營規模—供出規模に正比例するといわれている。それは經營規模か入れば代替作物の選擇が比較的自由であるが、小なればその自由が縮少されるからである。代替制の確認は芋類の供出を比較的多くして穀類、就中、米の供出量を少くする傾向にあることは争えない。これについての研究は他日を期することとして、こゝでは唯芋類の檢見方法の科學的確立と、代替比率を規定するに際しては單にカロリー計算のみではなく「より充分に經濟的考慮の拂われること」の重要性を指摘して綱筆する。(昭和二十二年九月十五日)

(茨城縣社在研究員)